

島教協

情報

No.585

島根県教職員協議会

〒693-0011

出雲市大津町2214

Tel 0853(22)7762

Fax 0853(22)7762

代表者 安達利幸

編集人 石原康博

E-mail

office@kyougikai.org

http://

www.kyougikai.org

年頭所感

力を結集して課題解決を

会長 安達利幸



平成二十年が幕を開けました。会員の皆様には希望に満ちた新たな年をお迎えになったことと思います。

さて、報道によると、昨年度病気で休職した全国の公立小中高校の教職員は七、六五五人に上り、このうち、うつ病など精神性疾患による休職は全体の六十一%を占める四、六七五人（前年度比四九七人増）だったことが文部科学省の調査で明らかになりました。十四年連続で増加し過去最多を更新したわけですが、歯止めがかからないこの現状について文科省は、「仕事の多忙化・複雑化に加え、保護者や同僚らとの人間関係など職場環境が厳しくなっていることが背景にある」と分析しています。事実、今の学校現場には校務の多忙さのほかにも様々な深刻な事情が横たわっているように思えます。

児童に配布した教材についていた小さな傷を指摘された小学校男性教諭。保護者から「うちの子の教材にわざと傷をつけたのか。」という電話がかかってきました。教諭はすぐに交換品を取り寄せることができなかったために、その後も連日のように電話で抗議を受け続けました。同僚からは「もつとしっかり対応すればよかった。」などと批判され、孤立感を深めてしまい、急性うつ病による休職を余儀なくされました。

別の小学校男性教諭は、学校でかすり傷を負った児童の保護者から、「けがをしたのになぜ親に知らせないのか。」と電話でどなりつけられました。保護者はさらに学校を訪れ、教諭を教時間にわたり叱責しました。教諭はその夜から眠れなくなり、急性うつ病と診断され休職に至りました。

一昨年、自宅アパートで自殺した新任の小学校女性教諭も、多忙な中で孤立感を深めていきました。担任していた児童に万引きの疑いがかかり、深夜まで謝罪に歩いていったところに、今度は「上履き隠し」が起き、保護者会で問題となりました。七月にうつ病を発症し休職。八月に復職したものの、追い討ちをかけるように学級でいじめが起り、保護者からは深夜に携帯電話を鳴らされる毎日でした。

このように保護者からのクレームがきっかけとなり、周囲から適切な支援を受けることができないままに心を病むケースが増えています。公立学校共済組合関東中央病院の牧健康管理課医長は「保護者に絡むトラブルで診察に訪れる教師の割合は

三年前は全体の二割程度だったが、最近では半数近くにまで増加している。」とその傾向を話します。同病院ではそうした教師のために、苦しんだ経験を打ち明けたり自己分析したりする集団療法を実施しており、同じ悩みをもつ人がいることを知るだけで気持ちが軽くなることから、約八割の教師が職場復帰を果たしているということです。東京都教職員互助会三葉病院の中島精神神経科部長も「親が学校を通り越して教育委員会に苦情を寄せたり、複数の保護者が結託して教師を辞めさせるよう要求したりするケースが増えている。」と指摘します。その上で「保護者の対応窓口となる相談室を設ける仕組み作りと、個人ではなくグループで対応するなど、悩む教師が孤立しないよう学校を挙げて対応に取り組むことが大切。」と提言しています。（事例はいずれも平成十九年八月十三日付け読売新聞を参照）

前述したのはいずれも他県の例ですが、それでは島根はどうなのかと問われたとき、大丈夫だと断言することはできません。そのため、島教協では今年度も全日教連と提携し、親の役目・教師の役目についての討議を深めた『教育シンポジウム』四国、特別な支援を要する児童・生徒への具体的な手法について研修を深めた『特別支援教育講演会』（講師：倉敷市立短期大学 平山 諭 教授）、教育への熱い思いとともに、児童・生徒の可能性を最大限引き出すための手法を具体的に学んだ『教育講演会』（講師：原田総合教育研究所 原田 隆史 所長）、事案の発生に対して、学校のあるべきスタンスを明確に説いた『学校危機管理研修会』（講師：香川大学 阪根健二 准教授）など、教師が、児童・生徒・保護者等と望ましい関係を構築するとともに、教育実践に活用できる研修会の機会を数多く実施してきました。併せて、県教委交渉のみならず、自民党島根県議連との意見交換の機会をもち、学校現場の多忙化の現状を訴えるところにも、教職員の置かれて困難な状況や勤務の特殊性等について訴えました。県議の多くからは「不適格教師に対する社会の視線が厳しいのは当然であるが、高い自覚の下、真摯な実践を積み重ねる教職員はそれぞれに応じて適切に処遇される必要がある、そのための条件整備には県議会としても全力を尽くしたい。」という力強い見解を得ました。

島教協は今年、結成四十七年目を迎えます。「すべては子供たちのために」という結成当時の理念を胸に、これからも努力を重ねてまいります。職に誠意を持ってあたればあたるほど様々な困難に直面します。それを一人で解決しようとするのは大変なエネルギーを要します。だからこそ、前掲の「悩む教師が孤立しないよう、学校を挙げて対応に取り組むことが大切」であるのと同じように、悩む会員が孤立しないよう、組織を挙げて対応に取り組むことが大切」であると考えます。勤務校の同僚だけでなく、会員相互が知恵を出し合い、力を結集して課題解決を図っていくようではありませんか。そのためには、まず何をしておいても組織の強化、拡大が喫緊の課題であり、会員の皆様の一層のご協力をお願いするところであります。

最後になりましたが、今年一年皆様が健康に十分に留意され、それぞれの立場で大いに活躍されますことを祈念し、年頭の心掛けとさせていただきます。

教員免許更新制

最新情報



中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会が、十二月二十五日、これまでの審議を「教員免許更新制の運用について（報告）」としてまとめ、公表した。今回は、平成二十一年三月三十一日以前に授与された免許状の場合について、ポイントをあげておく。

☆教員免許状の有効期間

普通免許状又は特別免許状を有する者の免許状には、引き続き有効期間の定めがないものとする。ただし、教員が、修了確認期限までに更新講習を受けなかった場合には、免許状はその効力を失う。

☆有効期間の更新（終了確認）

最初の修了確認期限は、35歳、45歳、55歳で迎える年度末に割り振られる予定。修了確認期限の延期が可能な理由に該当する場合や、講習の免除対象者に該当する場合には、申請などそのために必要な手続きを行う。修了確認期限の二年前に、大学などが開設する30時間の免許状更新講習を受講・修了する。更新講習を修了したことを免許管理者に申請し、更新講習修了確認を受ける。

☆更新講習の受講対象者

- ・ 現職教員（指導改善研修中の者を除く）
- ・ 教員採用内定者
- ・ 教育委員会や学校法人などが作成した臨時任用（または非常勤）教員リストに登録されている者
- ・ 過去に教員として勤務した経験のある者
- ・ 幼稚園教諭免許状を有している保育士で、認定こども園などに勤務している者
- ・ その他文部科学省令で定める者

☆免除対象者

- ・ 優秀教員表彰者
- ・ 教員を指導する立場にある者



学校紹介

松江市立内中原小学校

内中原小学校は、宍道湖や松江城に近く、自然と文化に囲まれた落ち着いた町並みにある学校です。

全校児童557人は節目節目の行事を心から楽しんでいきます。縦割り班に分かれて出店する内小祭りは、お化け屋敷やスライム屋など、子ども手作りのお店がいっぱいです。

秋の音楽会は、どの学年も趣向を凝らし、笑いあり感動ありで、地域からも評判の行事となっています。

出雲市立岐久小学校

岐久小学校は、出雲市の西部、多伎町にあり、全校134名です。平成18年の9月に新校舎が、19年の9月には体育館とプールが完成しました。3階や屋上からの眺めは特に素晴らしく、北側に日本海、キララトゥーリマキ風車、海辺の多伎図書館、道の駅キララ多伎などが、南側の丘陵地にはイチジク畑や水田が広がっています。子ども達は明るくきれいな環境のなかで、のびのびと学校生活を送っています。

☆免許状更新講習について
講習の開設は、長期休業期間中や土日での開講を基本とするともに、通信・インターネットや放送による形態なども認めることにより、受講しやすい環境の整備に努める。

受講者は、本人の専門や課題意識に応じて、教職課程を持つ大学などが開設する講習の中から、

1. 教育の最新事情に関する事項（十二時間）

2. 教科指導、生徒指導その他教育内容の充実に関する事項（十八時間）
について必要な講習を選択し、受講することとする予定。

講習の修了認定は、開設者が試験を実施し、文部科学大臣が告示する到達目標に掲げる内容について最低限の理解が得られていると認められる場合に行う。

☆有効期間の延期（修了確認期限の延期）

指導改善研修中であること。休職中であること。産休、育休、病気休暇、介護休暇中であること。海外派遣中であること。専修免許状の取得のための課程に在籍していること。自然現象により受講が困難となっていること。など。

（初等中等教育局メールマガジンより）